

第5次 御前崎市地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定のためのアンケート調査

I 調査概要

1 調査目的

「御前崎市第5次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画」を策定するにあたり、市民の日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査設計

調査対象：御前崎市内に在住する18歳以上の方

調査方法：郵送配布、郵送またはWEB回収

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和8年1月8日（木）から令和8年1月28日（水）まで

3 回収結果

発送数：1,000票

回収数：418票（郵送回収：256票、WEB回収：162票）

有効回収数：418票（郵送回収：256票、WEB回収：162票）

有効回収率：41.8%

4 報告書を見る際の注意点

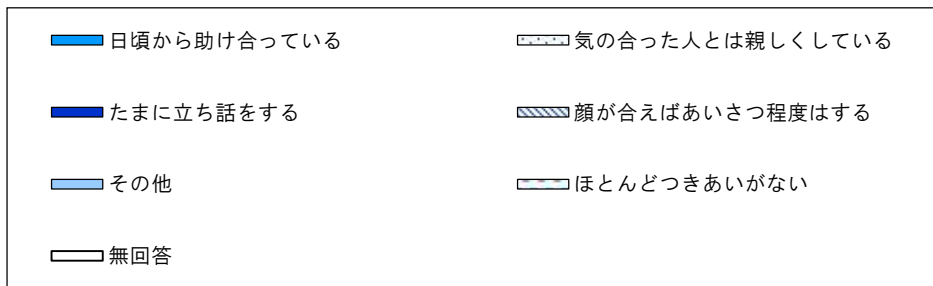
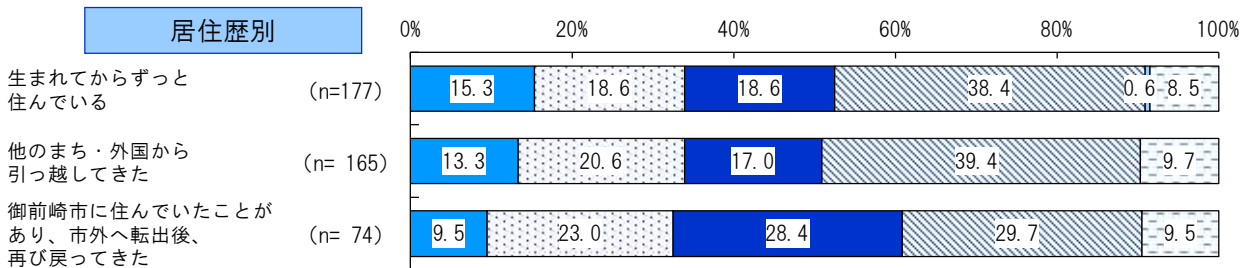
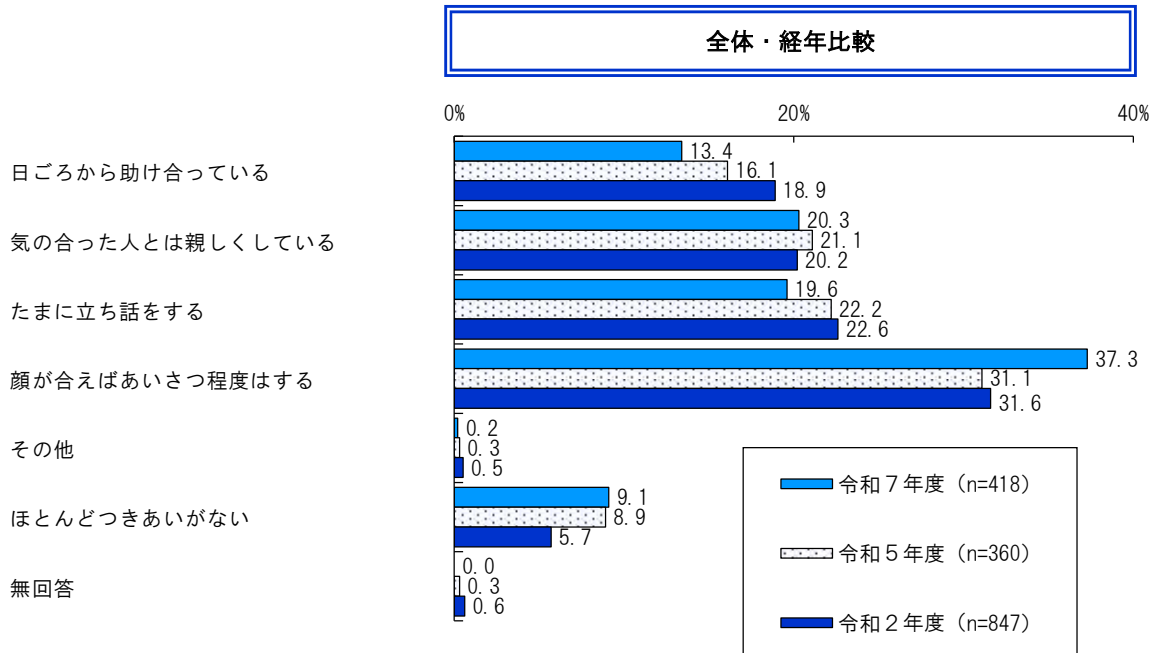
- （1）基数となるべき実数は調査数nとして記載しています。
- （2）比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- （3）複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

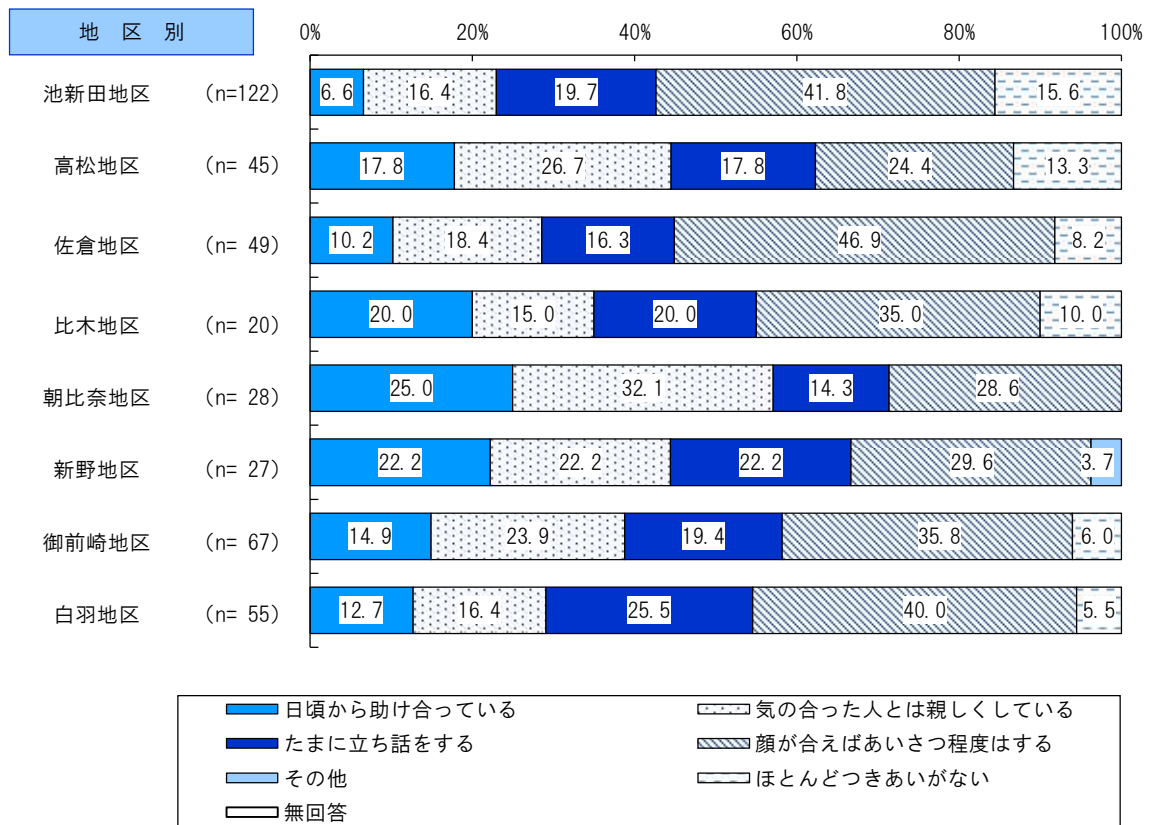
II 調査の主な結果

1 近所づきあいの程度

問10 あなたは、普段ご近所の方との程度のおつきあいをしていますか。

(○は1つだけ)





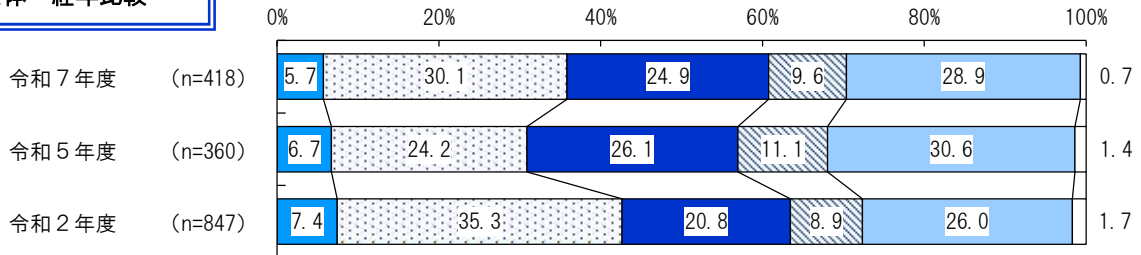
近所づきあいの程度については、「顔が合えばあいさつ程度はする」が37.3%と最も多く、次いで「気の合った人とは親しくしている」が20.3%、「たまに立ち話をする」が19.6%などとなっています。

地区別にみると、“高松地区” “朝比奈地区” では「気の合った人とは親しくしている」が最も多くなっています。

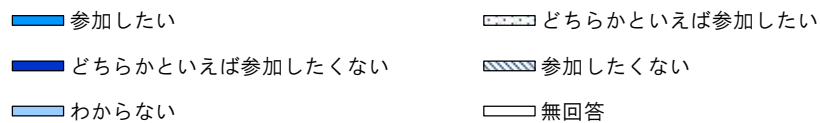
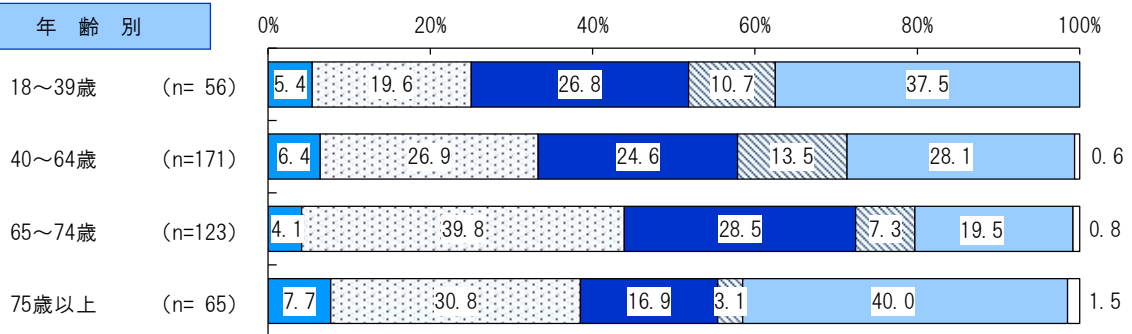
2 地域福祉を推進する活動への参加希望

問14 今後、地域の高齢者や障がいのある方、子どもへの支援など地域福祉を推進する活動について、参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

全体・経年比較



年齢別

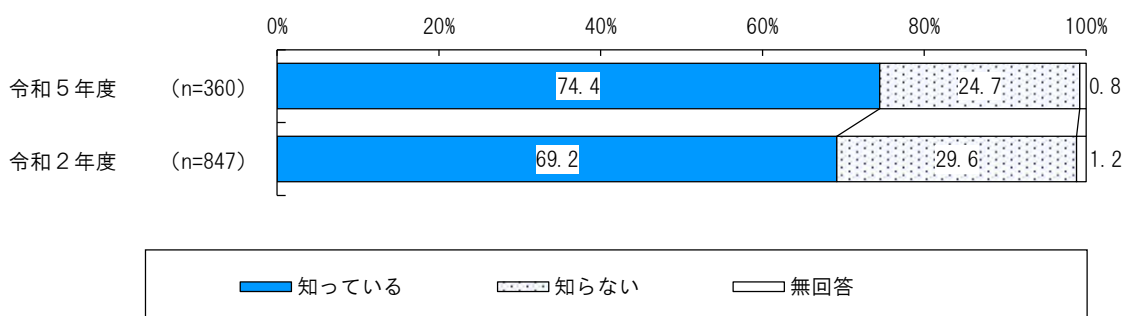
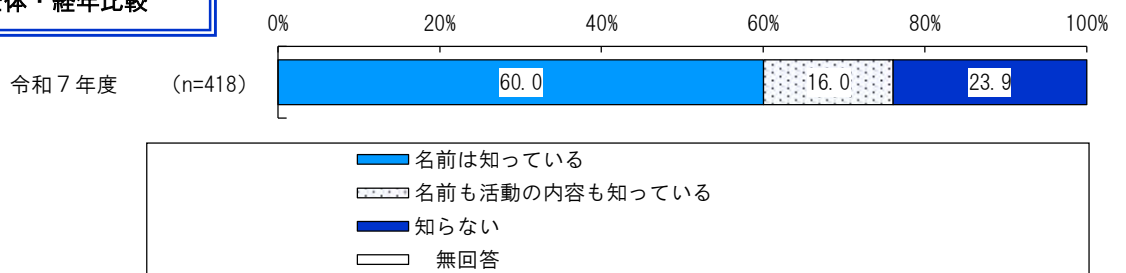


地域福祉を推進する活動への参加希望については、「どちらかといえば参加したい」が30.1%と最も多く、次いで「わからない」が28.9%、「どちらかといえば参加したくない」が24.9%などとなっています。

3 民生委員・児童委員の認知

問17 あなたは、民生委員・児童委員をご存知ですか。 (○は1つだけ)

全体・経年比較

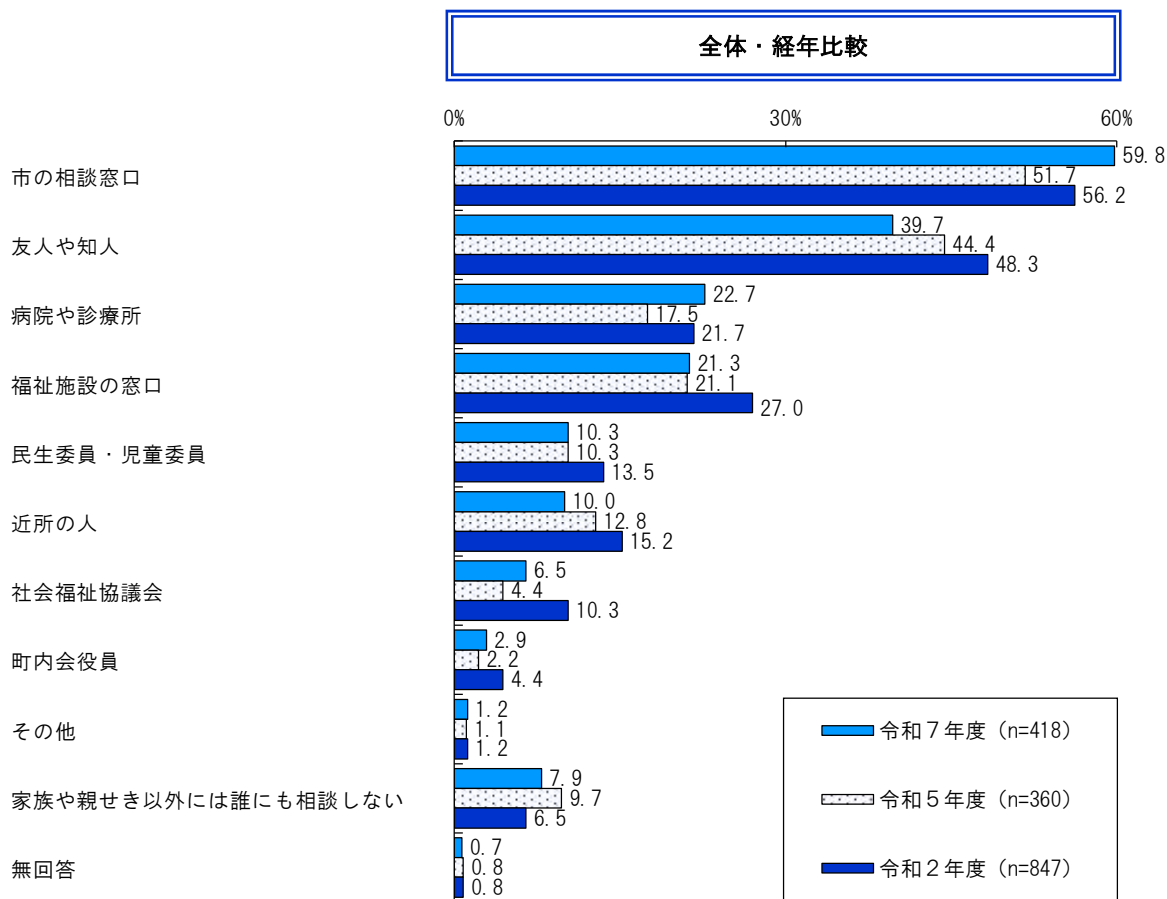


※令和7年度から選択肢を変更しています。

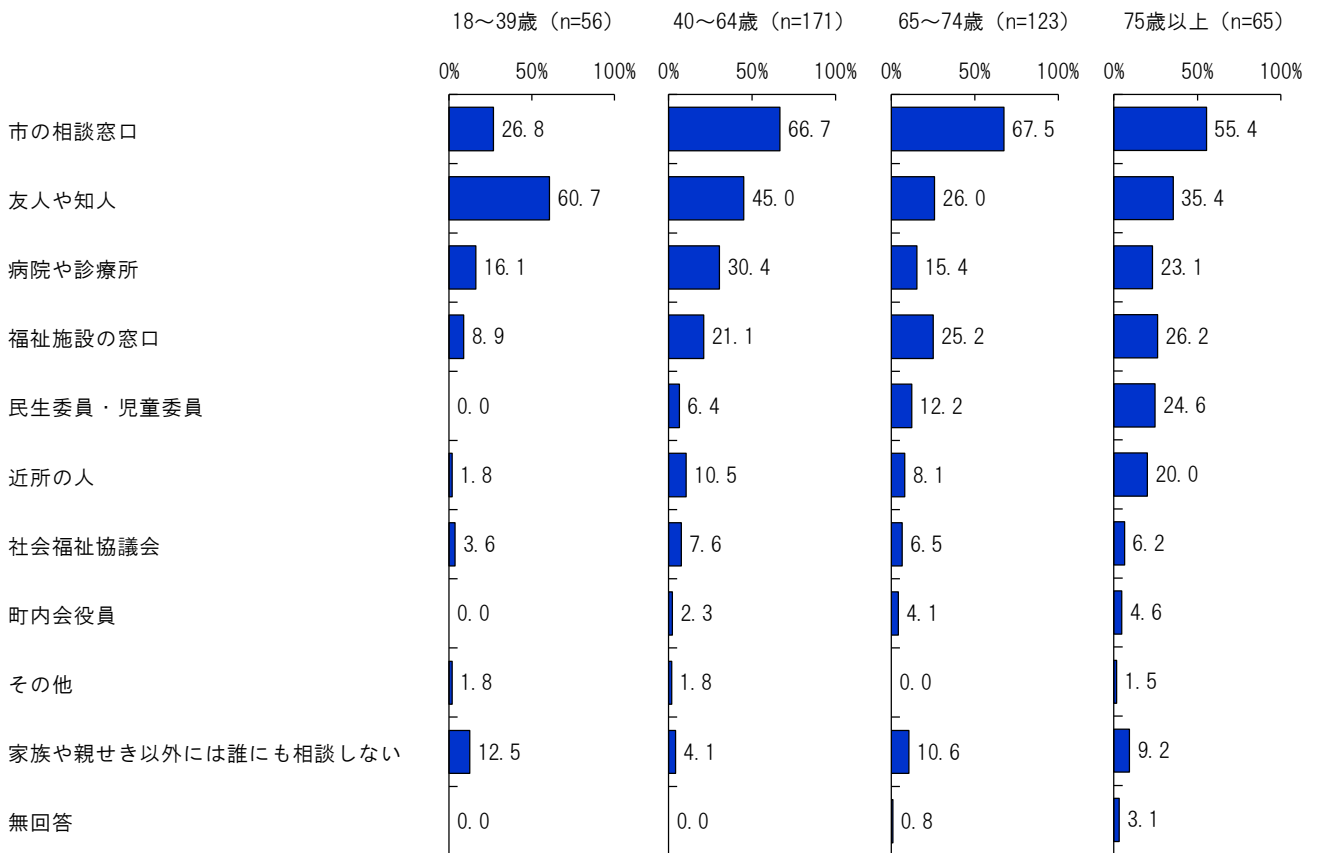
民生委員・児童委員の認知については、「名前は知っている」が60.0%、「名前も活動の内容も知っている」が16.0%、「知らない」が23.9%となっています。

4 家族や親せき以外に相談できる相手

問21 あなたが生活上で困ったり、福祉サービスが必要になったりしたとき、家族や親せき以外に誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）



年 齢 別



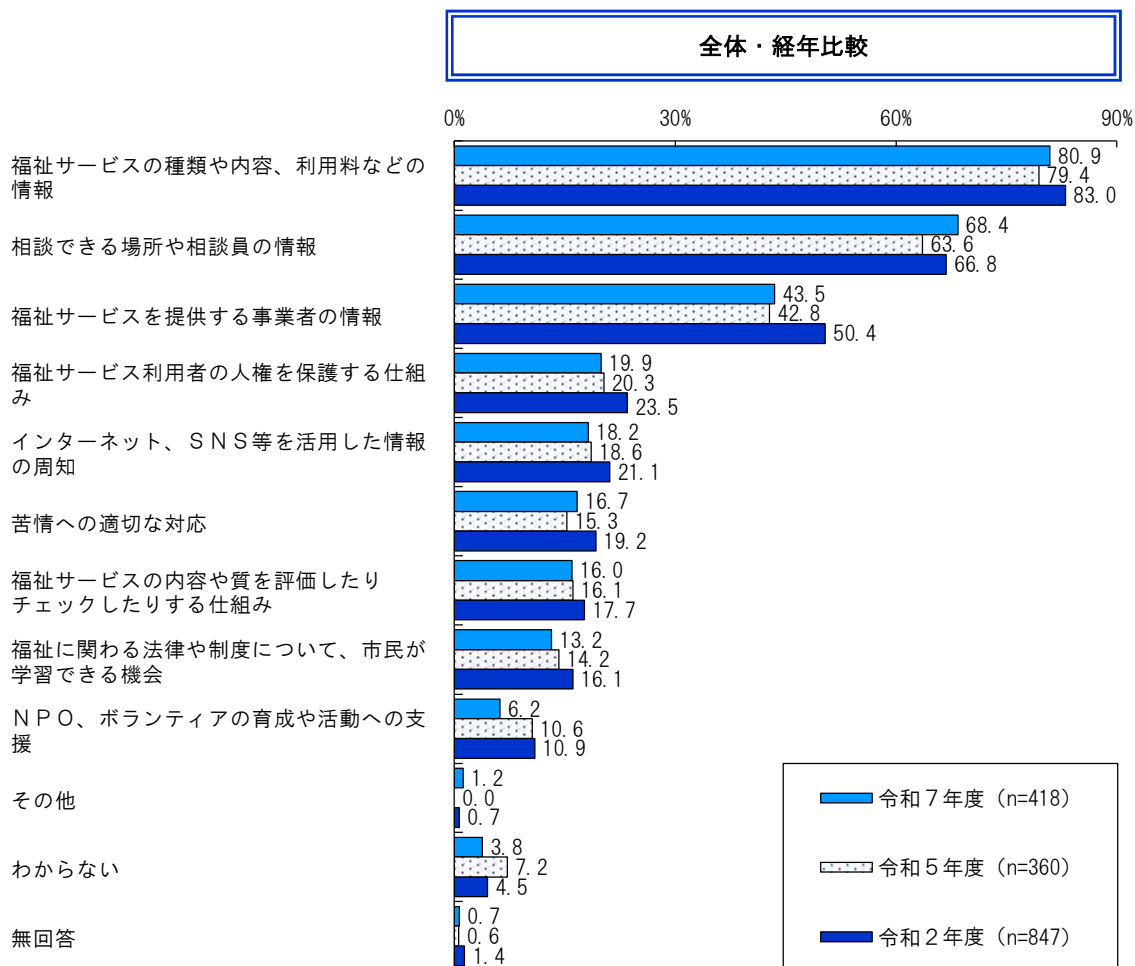
家族や親せき以外に相談できる相手については、「市の相談窓口」が59.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が39.7%、「病院や診療所」が22.7%などとなっています。

全体・経年比較でみると、「友人や知人」が年々少なくなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「友人や知人」が60.7%と最も多くなっています。

5 安心して福祉サービスを利用するために必要なこと

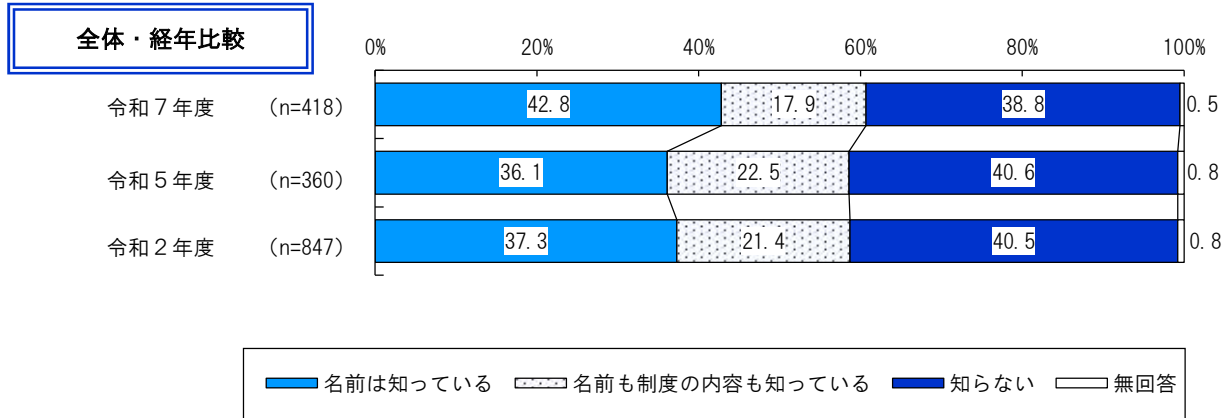
問23 福祉サービスを安心して利用できる環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



安心して福祉サービスを利用するために必要なことについては、「福祉サービスの種類や内容、利用料などの情報」が80.9%と最も多く、次いで「相談できる場所や相談員の情報」が68.4%、「福祉サービスを提供する事業者の情報」が43.5%などとなっています。

6 成年後見制度の認知

問25 あなたは、成年後見制度を知っていますか。 (○は1つだけ)

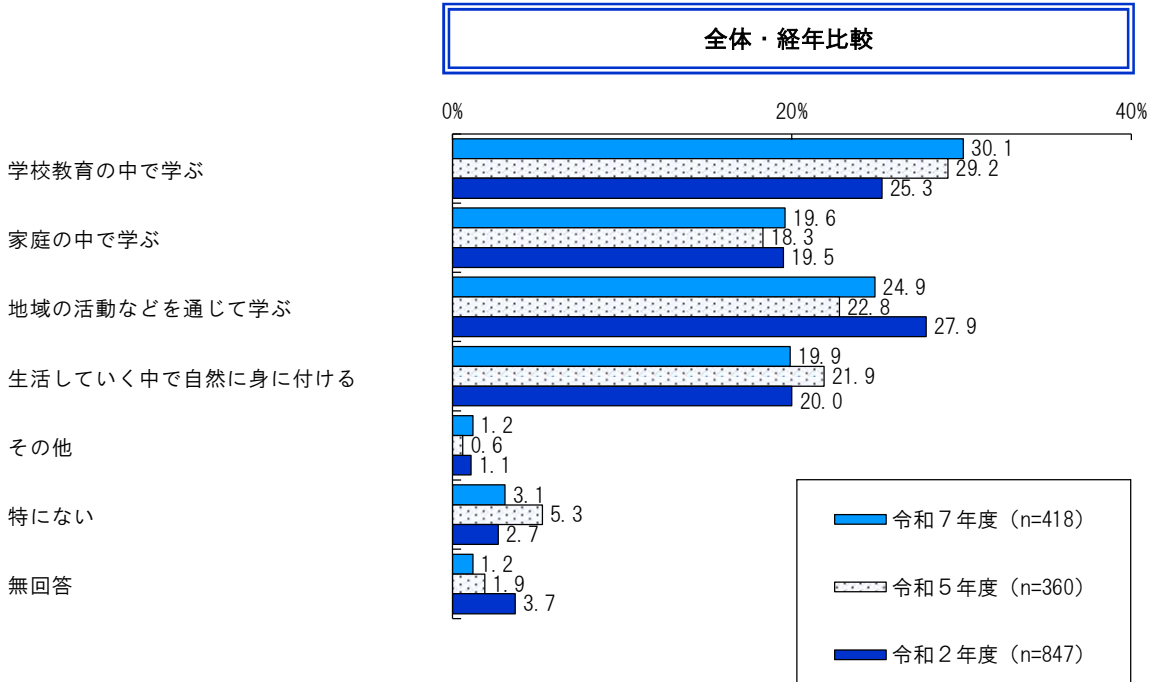


成年後見制度の認知については、「名前を知っている」が42.8%、「名前も制度の内容も知っている」が17.9%、「知らない」が38.8%となっています。

7 子どもの福祉教育で最も大切だと思うこと

問27 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。

(○は1つだけ)

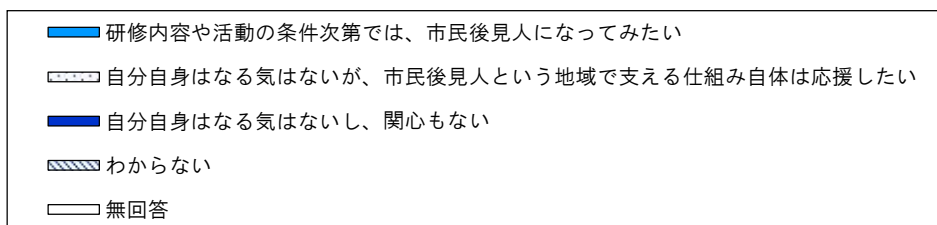
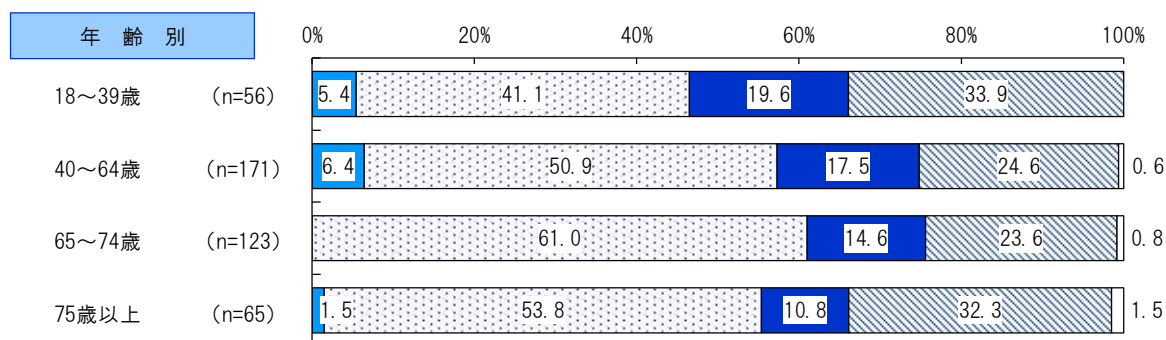
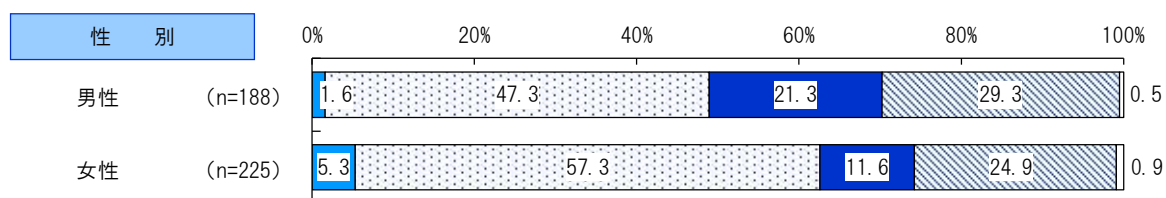
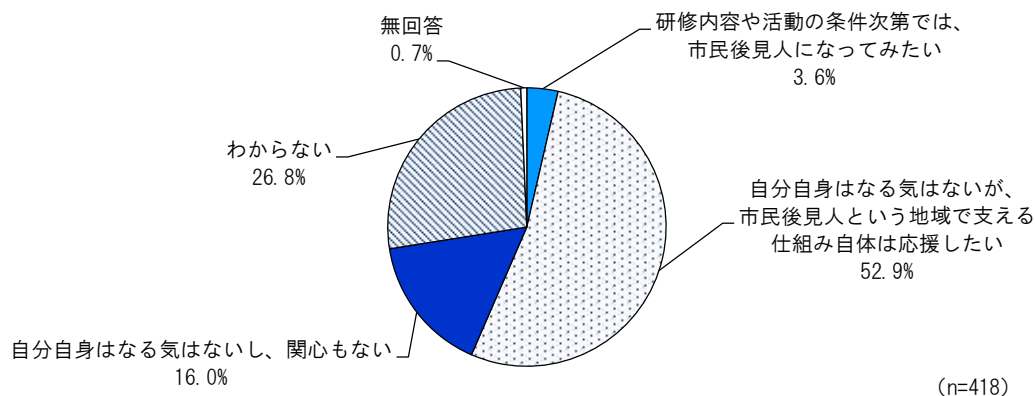


子どもの福祉教育で最も大切だと思うことについては、「学校教育の中で学ぶ」が30.1%と最も多く、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」が24.9%、「生活していく中で自然に身に付ける」が19.9%などとなっています。

全体・経年比較でみると、「学校教育の中で学ぶ」が年々増加しています。

8 市民後見人について、あなたの考えに最も近いもの

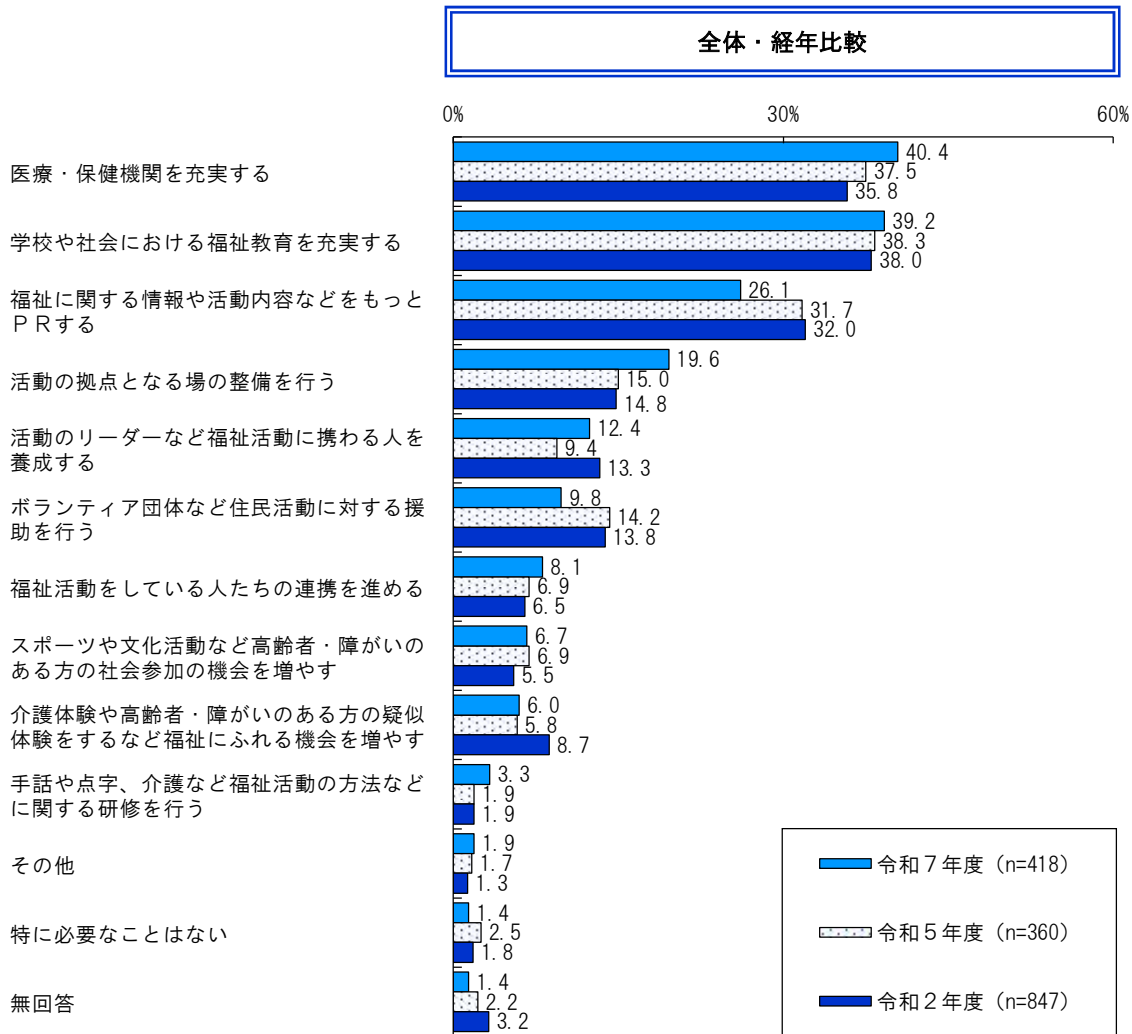
問26 御前崎市では、一定の研修を修了した一般の方に成年後見人として活動してもらう「市民後見人」を育成しています。この市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。（○は1つだけ）



市民後見人について、あなたの考えに最も近いものについては、「研修内容や活動の条件次第では、市民後見人になってみたい」が3.6%、「自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい」が52.9%、「自分自身はなる気はないし、関心もない」が16.0%、「わからない」が26.8%となっています。

9 地域の福祉活動を進めるために必要なこと

問29 地域の福祉活動を進めるために、どのようなことが主に必要だと思いますか。
(○は2つまで)

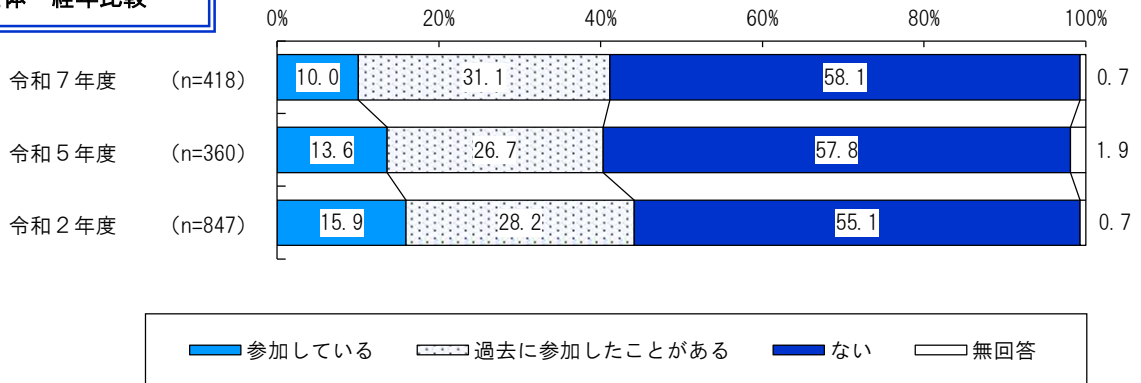


地域の福祉活動を進めるために必要なことについては、「医療・保健機関を充実する」が40.4%と最も多く、次いで「学校や社会における福祉教育を充実する」が39.2%、「福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする」が26.1%などとなっています。

10 ボランティア活動への参加

問30 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

全体・経年比較

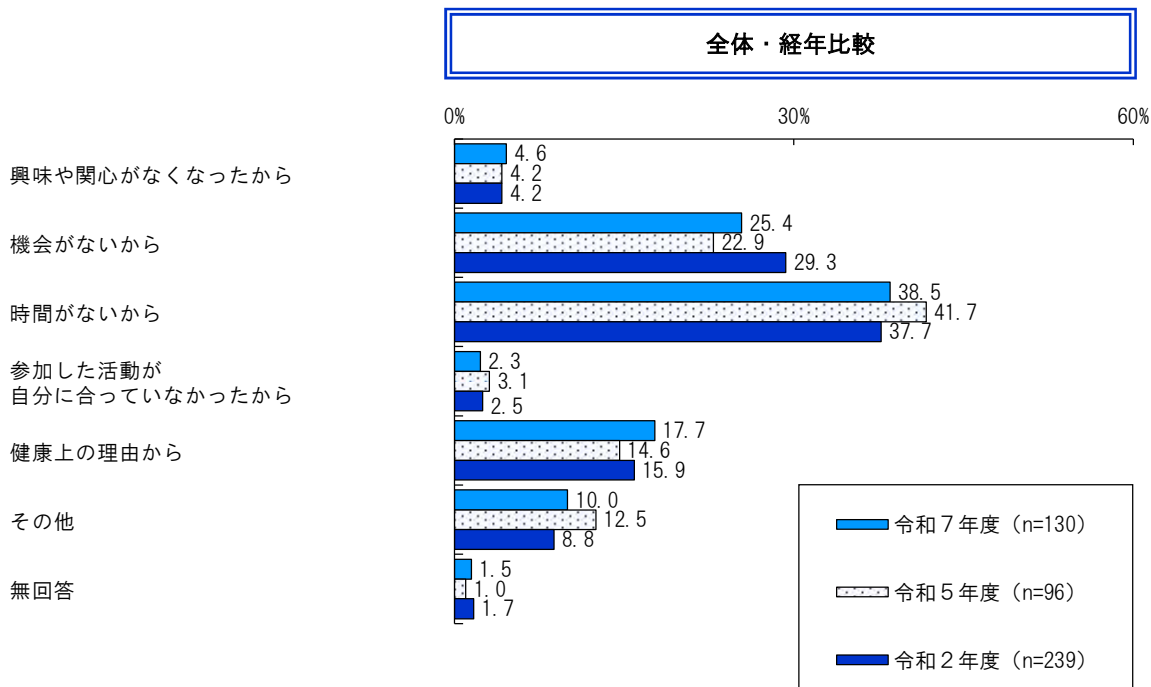


ボランティア活動への参加については、「参加している」が10.0%、「過去に参加したことがある」が31.1%、「ない」が58.1%となっています。

11 現在参加していない理由

問30で「2 過去に参加したことがある」と回答した方にお聞きします。

問30-2 現在参加していない主な理由をお聞かせください。(〇は1つだけ)

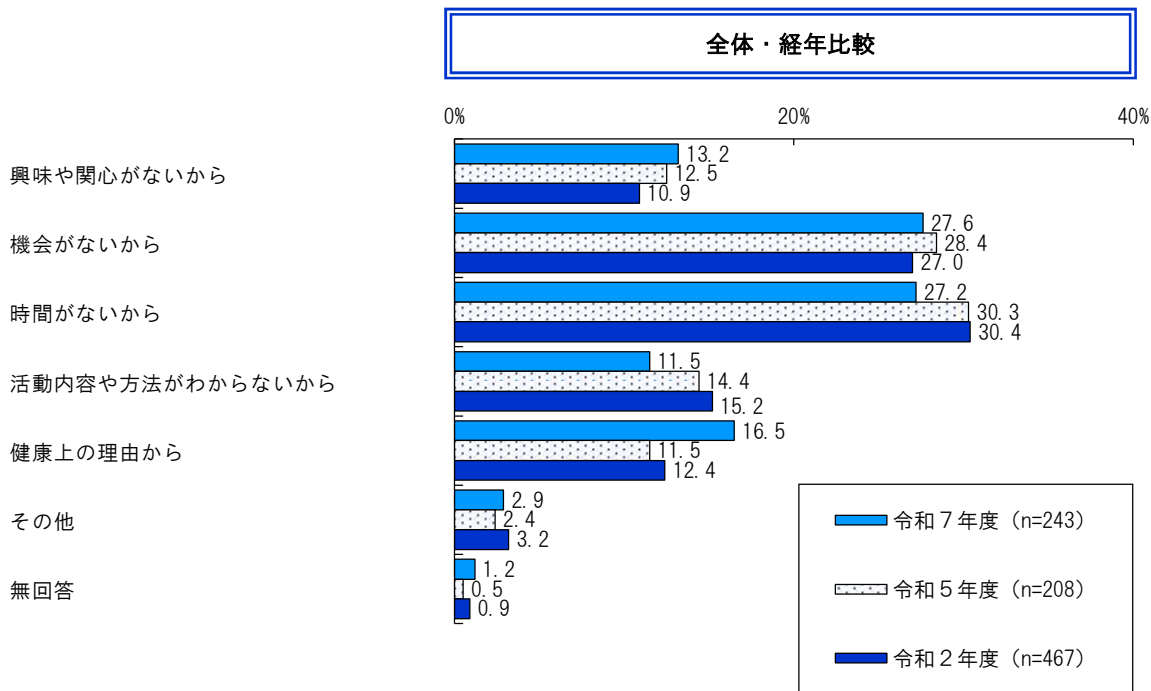


現在参加していない理由については、「時間がないから」が38.5%と最も多く、次いで「機会がないから」が25.4%、「健康上の理由から」が17.7%などとなっています。

12 参加したことがない理由

問30で「3 ない」と回答した方にお聞きします。

問30-3 参加したことがない主な理由をお聞かせください。（○は1つだけ）

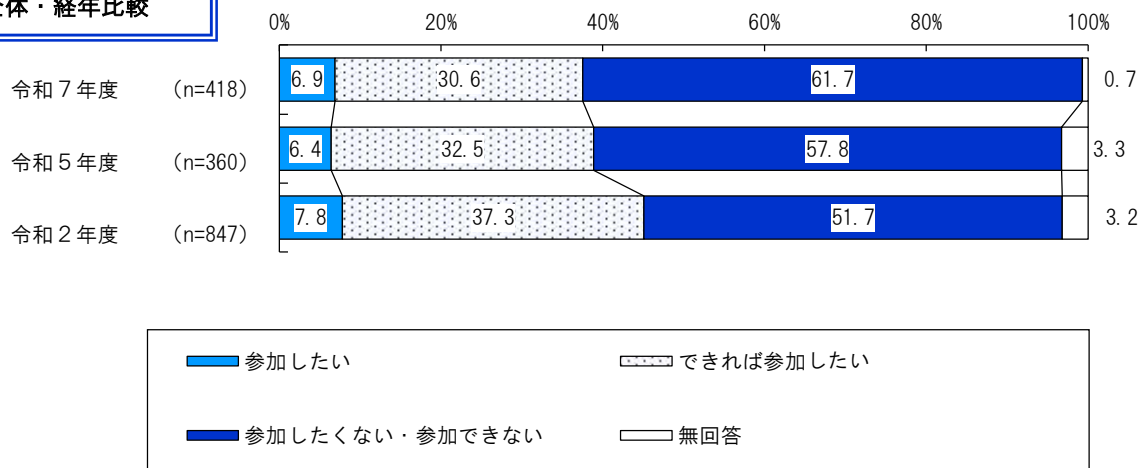


参加したことがない理由については、「機会がないから」が27.6%と最も多く、次いで「時間がないから」が27.2%、「健康上の理由から」が16.5%などとなっています。

13 ボランティア活動への参加希望

問31 あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

全体・経年比較

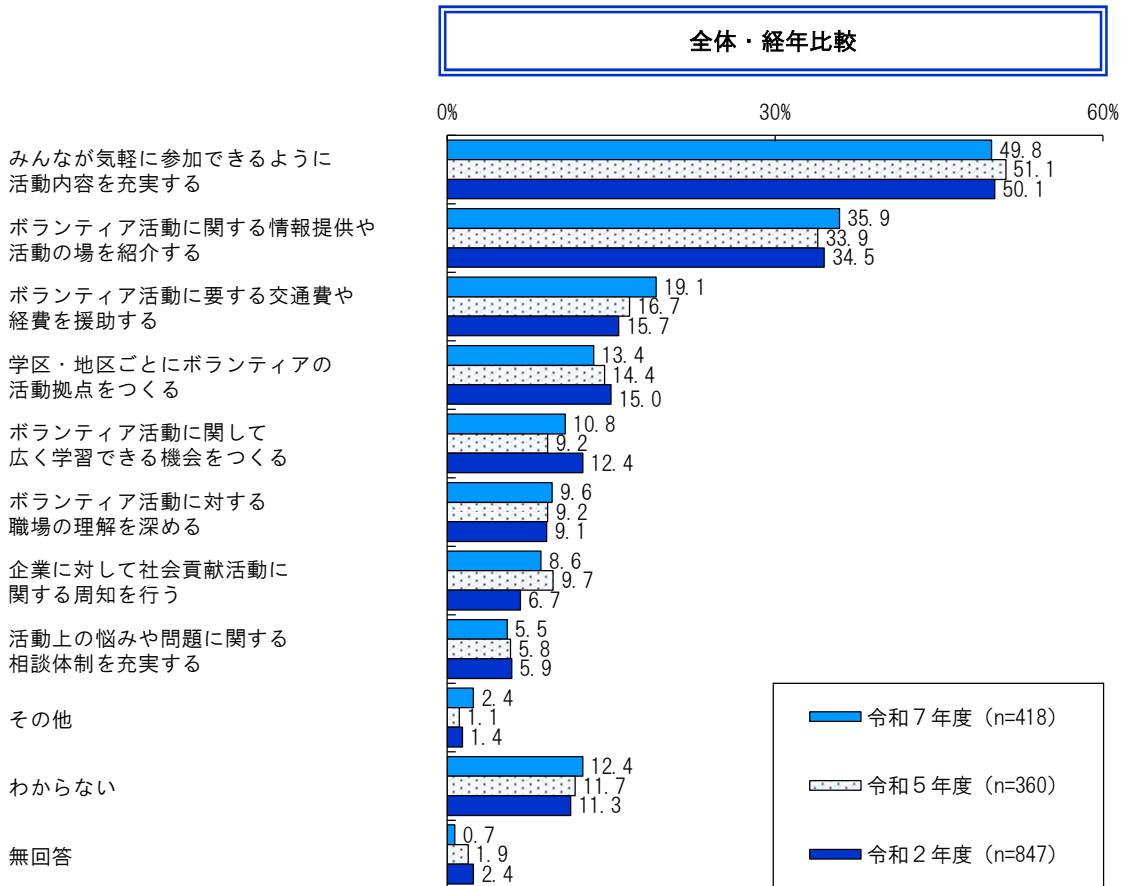


ボランティア活動への参加希望については、「参加したい」が6.9%、「できれば参加したい」が30.6%、「参加したくない・参加できない」が61.7%となっています。

全体・経年比較でみると、「参加したくない・参加できない」が年々増加しています。

14 ボランティア活動が活発になるために必要なこと

問32 今後、御前崎市でボランティア活動が活発になるためには、主にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)



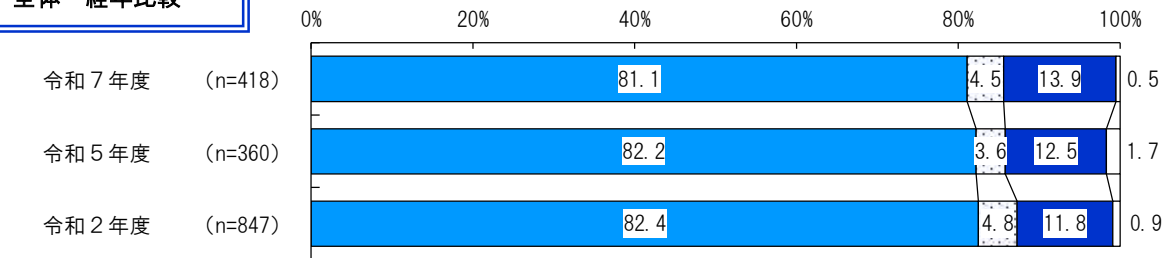
ボランティア活動が活発になるために必要なことについては、「みんなが気軽に参加できるように活動内容を充実する」が49.8%と最も多く、次いで「ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する」が35.9%、「ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する」が19.1%などとなっています。

全体・経年比較でみると、「ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する」が年々増加しています。

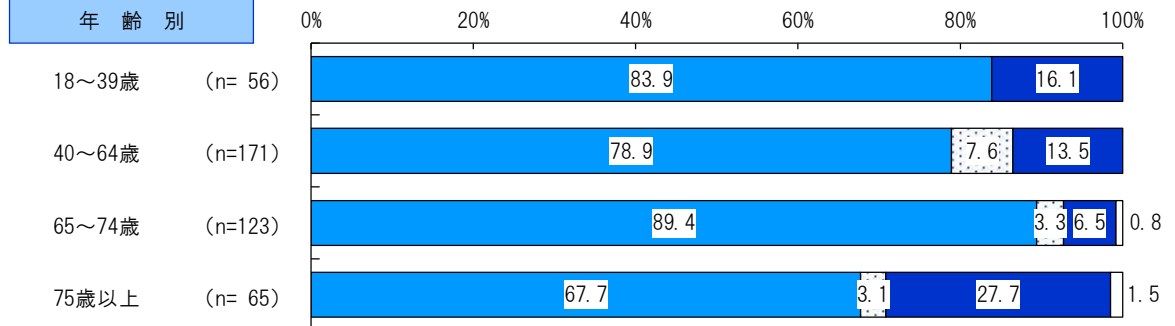
15 災害等の緊急時の一人での避難

問33 あなたは、災害等の緊急時の場合、一人で避難できますか。（○は1つだけ）

全体・経年比較



年齢別

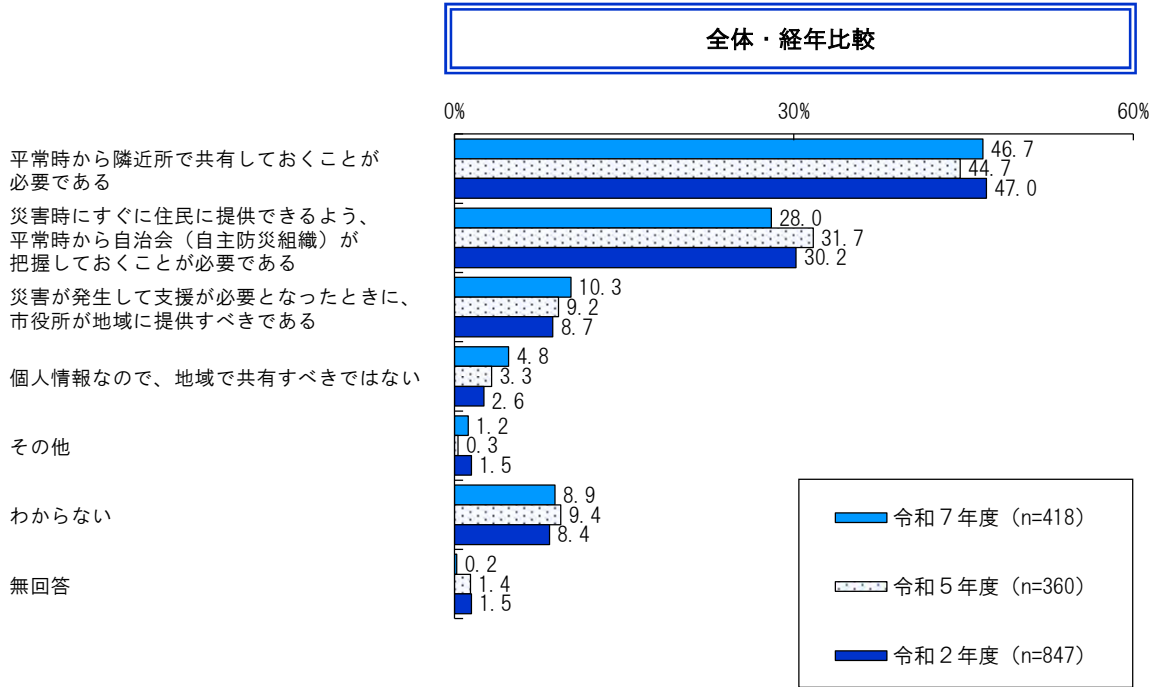


■ 一人で避難できる
 ■ 避難できない
 ■ わからない
 ■ 無回答

災害等の緊急時の一人での避難については、「一人で避難できる」が81.1%、「避難できない」が4.5%、「わからない」が13.9%となっています。

16 地域で避難支援の必要な人の情報共有

問35 災害時に避難支援の必要な人（身体の不自由な人など）の情報を地域で共有することについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つだけ）

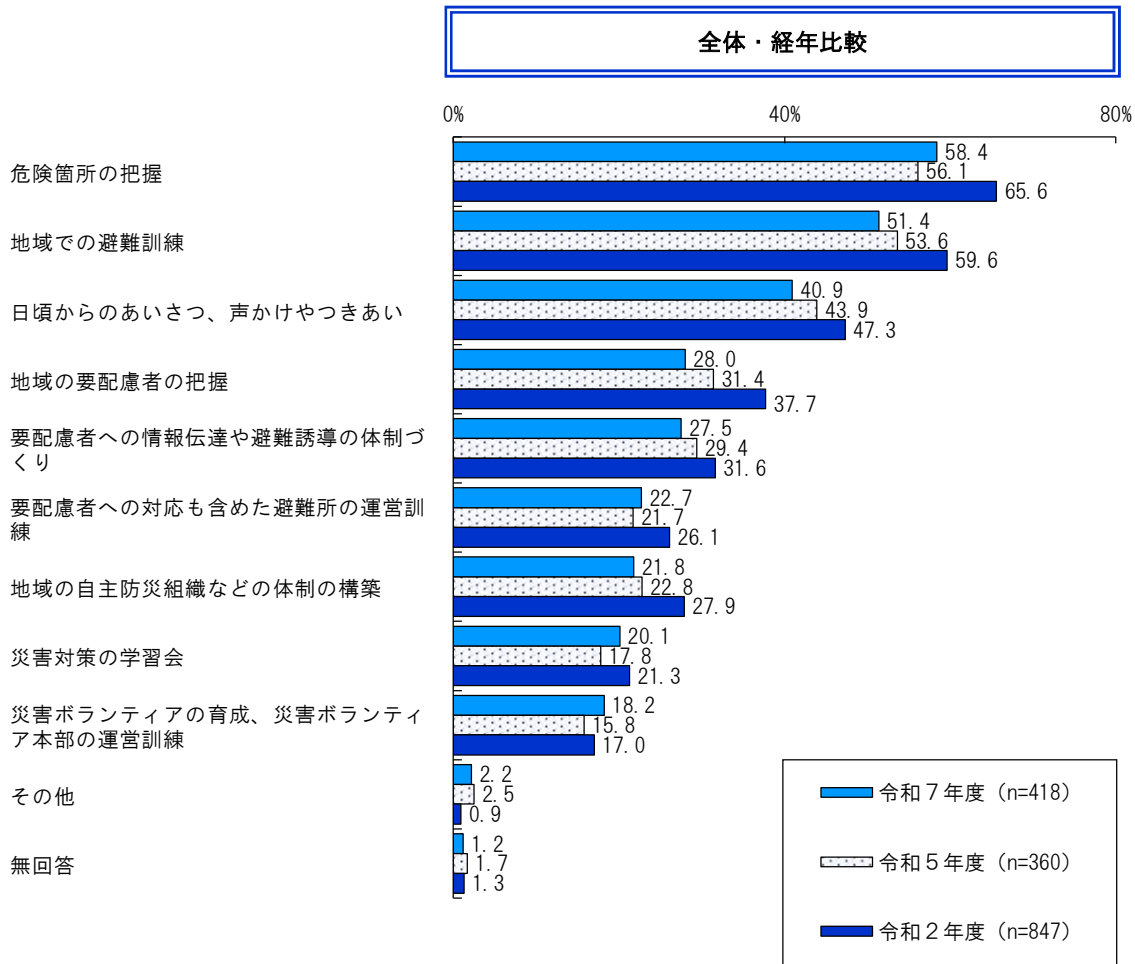


地域で避難支援の必要な人の情報共有については、「平常時から隣近所で共有しておくことが必要である」が46.7%と最も多く、次いで「災害時にすぐに住民に提供できるよう、平常時から自治会（自主防災組織）が把握しておくことが必要である」が28.0%、「災害が発生して支援が必要となったときに、市役所が地域に提供すべきである」が10.3%などとなっています。

全体・経年比較でみると、「災害が発生して支援が必要となったときに、市役所が地域に提供すべきである」、「個人情報なので、地域で共有すべきではない」が年々増加しています。

17 地域における災害時の備えで大切なこと

問36 地域における災害時の備えとして、どのようなことが大切だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



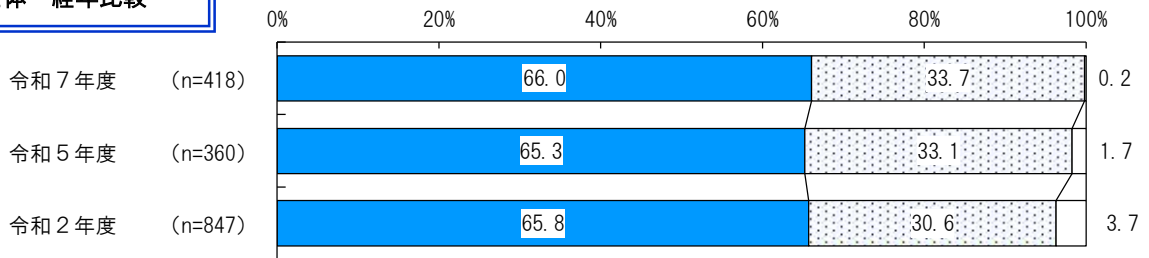
※「災害ボランティアの育成、災害ボランティア本部の運営訓練」の選択肢は令和5年度調査までは「災害ボランティアの育成」でした。

地域における災害時の備えで大切なことについては、「危険箇所の把握」が58.4%と最も多く、次いで「地域での避難訓練」が51.4%、「日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が40.9%などとなっています。

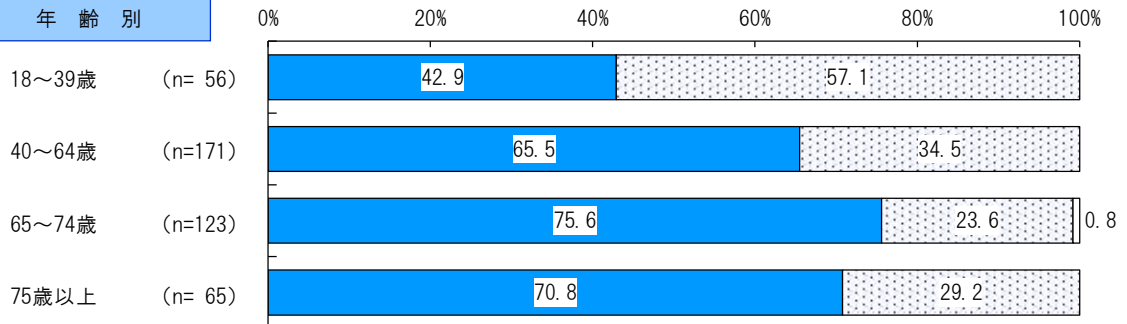
18 御前崎市社会福祉協議会の認知

問39 あなたは、御前崎市社会福祉協議会を知っていますか。 (○は1つだけ)

全体・経年比較



年齢別



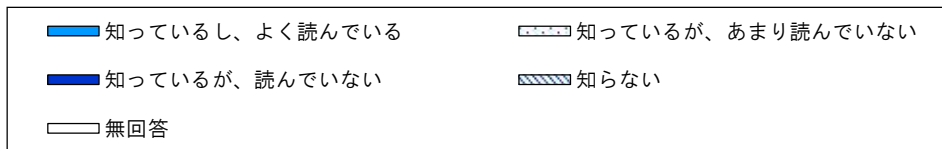
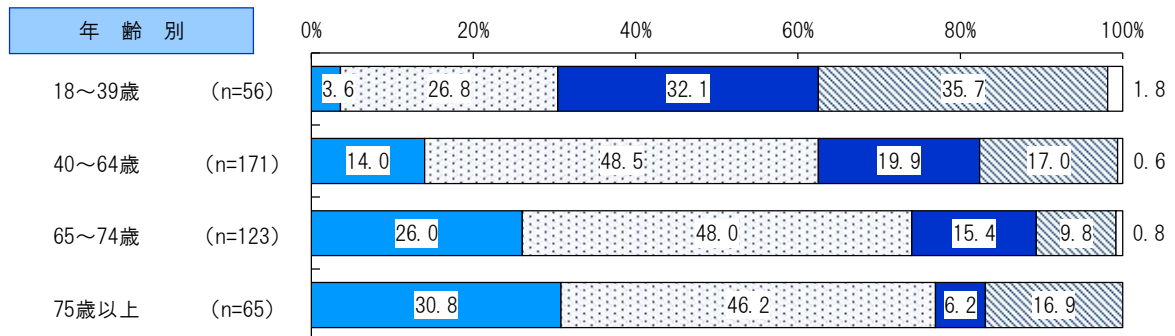
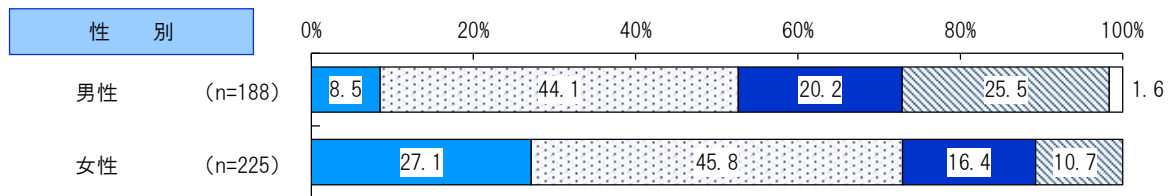
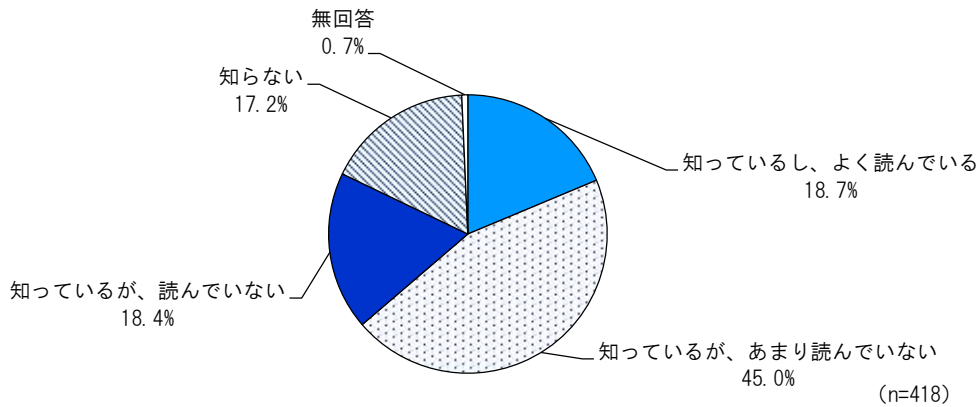
■ 知っている
 知らない
 無回答

御前崎市社会福祉協議会の認知については、「知っている」が66.0%、「知らない」が33.7%となっています。

年齢別でみると、“18~39歳”では「知っている」が42.9%、「知らない」が57.1%と、「知らない」のほうが多くなっています。

19 『おまえざき社協だより』の認知

問42 あなたは、御前崎市社会福祉協議会で発行している広報誌「おまえざき社協だより」をご存知ですか。
(○は1つだけ)

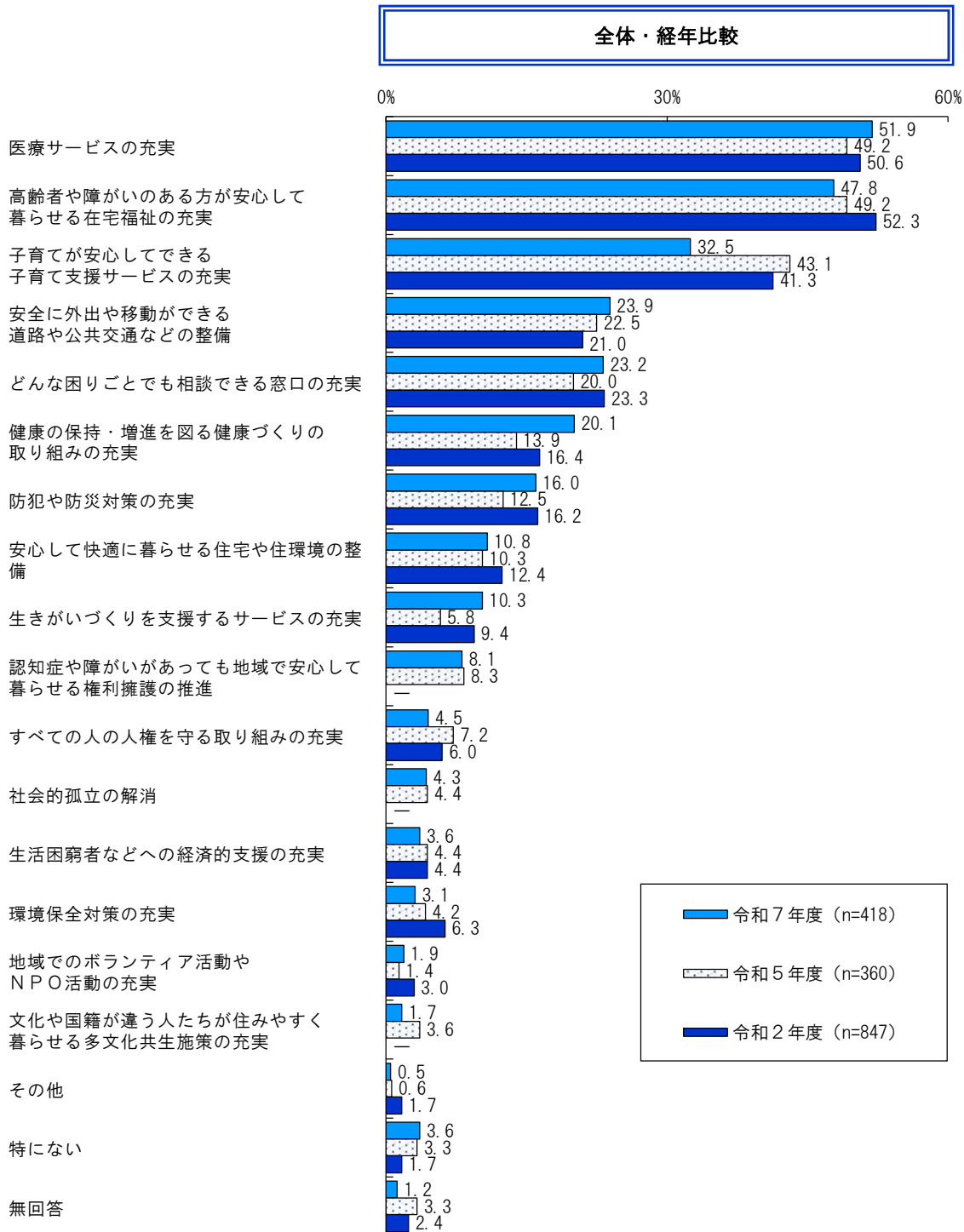


『おまえざき社協だより』の認知については、「知っているし、よく読んでいます」が18.7%、「知っているが、あまり読んでいない」が45.0%、「知っているが、読んでいない」が18.4%、「知らない」が17.2%となっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「知らない」が35.7%と最も多くなっています。

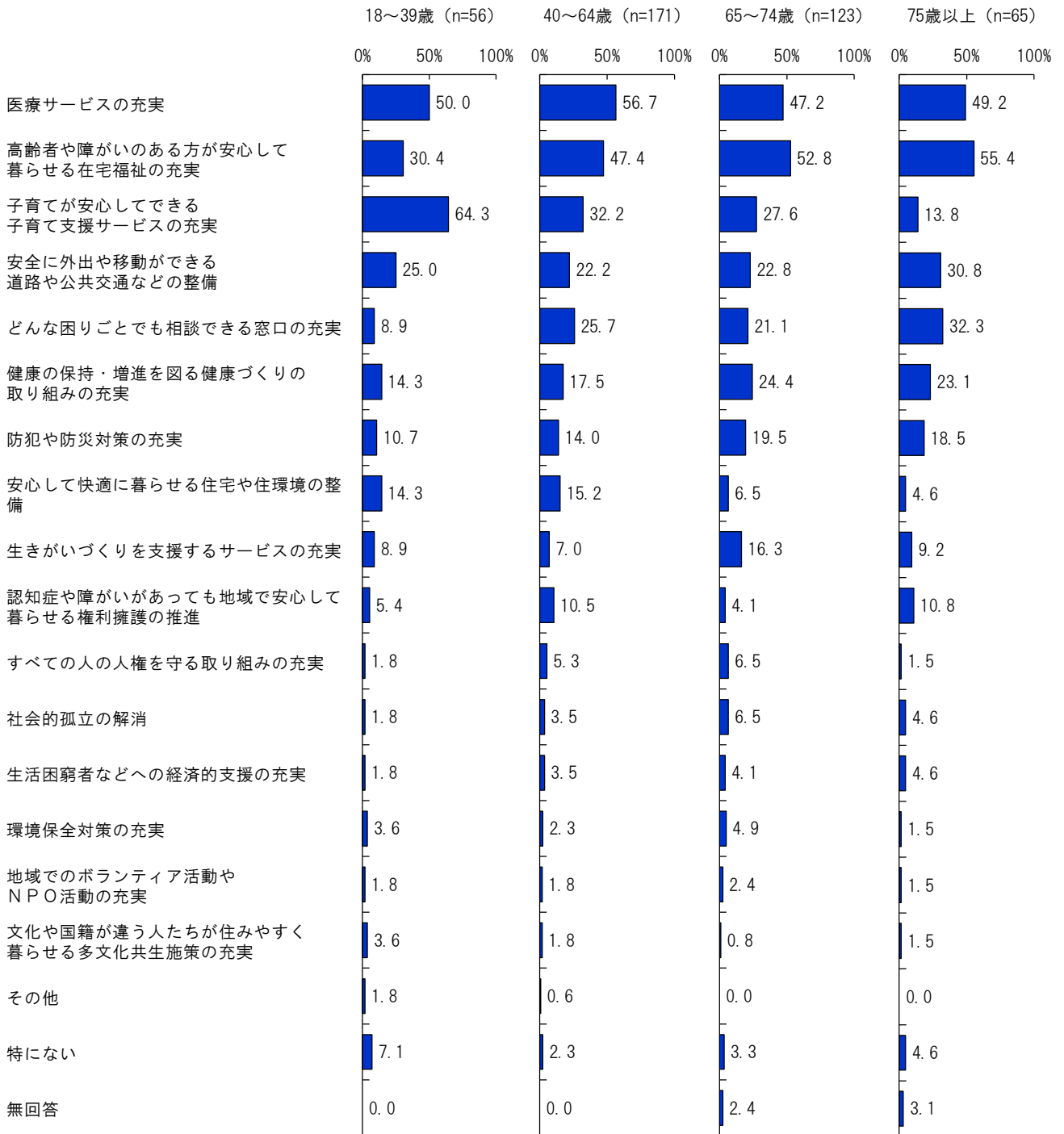
20 御前崎市に力を入れてほしいこと

問47 日頃の生活で健康や福祉を増進するために、御前崎市はどのようなことに力を入れて取り組むべきだとお考えですか。 (あてはまるもの3つに○)



※ 「認知症や障がいがあっても地域で安心して暮らせる権利擁護の推進」、「社会的孤立の解消」、「文化や国籍が違う人たちが住みやすく暮らせる多文化共生施策の充実」の選択肢は令和5年度調査で追加されました。

年 齢 別



御前崎市に力を入れてほしいことについては、「医療サービスの充実」が51.9%と最も多く、次いで「高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実」が47.8%、「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」が32.5%などとなっています。

年齢別でみると、“18～39歳”では「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」が64.3%と最も多くなっています。また、“65～74歳”、“75歳以上”では「高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実」が最も多くなっています。